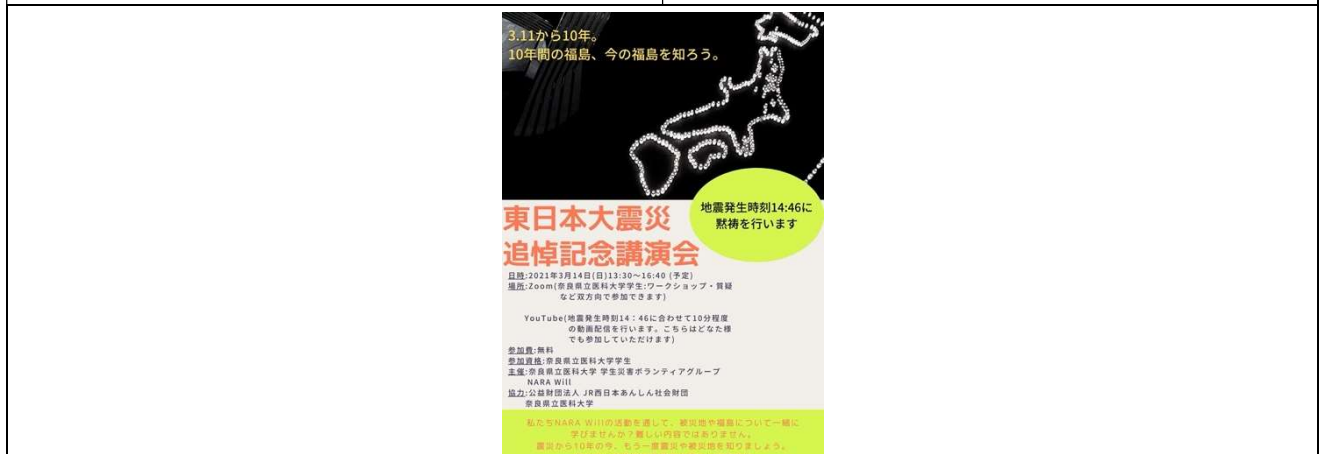
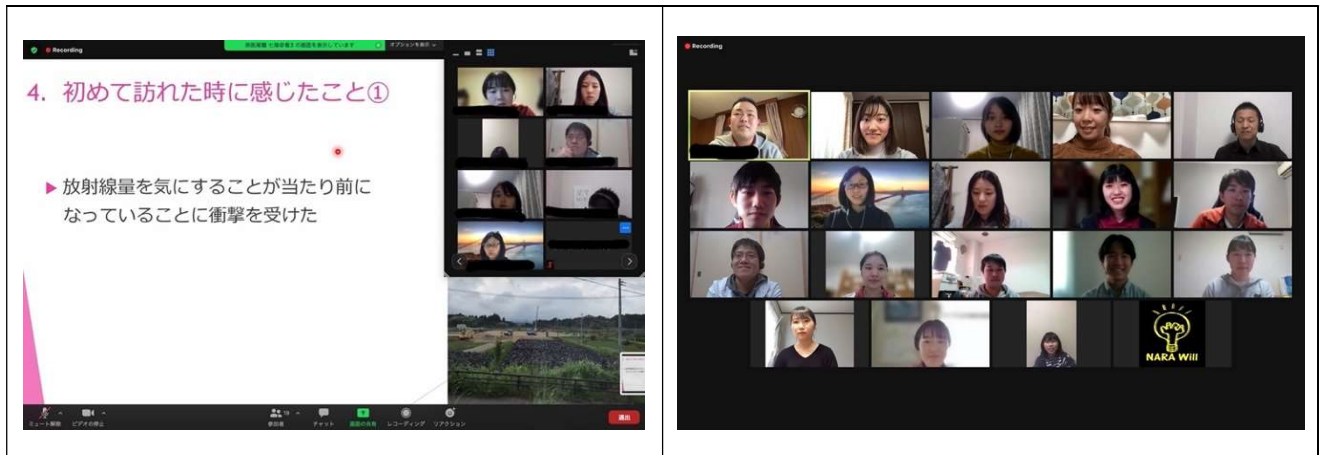


## 2020 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	NARA Will 奈良県立医科大学 学生災害ボランティアグループ
活動テーマ	東日本大震災追悼記念講演会



**【目的】**東日本大震災(以下震災とする)から、10年が経過し、当時の記憶の「風化」が進んでいる。学内においても震災当時と比較して、震災の被災地に対する関心が低下してきているのが現状である。特に、福島第一原子力発電所事故による放射能汚染の影響を受けた福島県の現状に対する関心・理解は十分でない。このような現状に対して、震災当時より福島県での活動を続けてきた、NARA Willのメンバーが学部生、教職員に対して震災から10年の歩みを発表することで、参加者の被災地に対する理解を深める。また、被災地の方の「忘れないで欲しい」というメッセージを届けると共に、犠牲者の方への弔意を示す機会とする。

**【実施方法・内容】**奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学、福島県立医科大学の学部生はZoomを使用し、オンライン上の講演会を実施。奈良県立医科大学の教職員、一般の方には、震災発生時刻の黙祷及び当団体の福島での活動、福島の10年の関する動画をYouTube上で配信した。

**【成果】**医療系学生として見てきた福島を同世代の学生に向けて発信し、福島の震災当時の被害の状況、放射線危険区域の街の変化、復興していく福島の街を知り、改めて震災や福島について考えてもらう機会を作ることができた。また、震災後に被害を受けた被災地を実際に見ていない学生に対して、当時の様子を写真や映像を用いて伝えることで、地震や津波の脅威について知ってもらう機会となった。また、10年という月日が経過し、震災や被災地の記憶が薄れている中で、震災当時の様子や現在の復興に向けての取り組みについて発信し、震災や被災地を忘れないで欲しいというメッセージを伝えることで、参加者が再び震災や福島について考え、寄り添う機会になったと考えられる。